

令和3年度まちづくり懇話会
日時：令和3年11月4日15：00～16：30
場所：江差町役場 第2委員会室

令和3年11月25日時点

分野：産業団体3（漁業者）

No	発言者	意見内容	意見に対する当日回答内容	まちづくり懇話会後の対応状況	担当課
1	漁業関係者	【町からの支援について】 昨年からの日にかけて負担金の2度にわたるご支援について感謝申し上げます。コロナ禍の影響でどの魚種も価格が低下している状況の中で大変助かった。			産業振興課
2	漁業関係者	【サクラマス売値低下と取引先の確保について】 サクラマスの定置網漁について、コロナで値段が低迷してしまった。収量が増加しても販売元が受け入れてくれないため値段がつかない。 4月から漁を始めたが経費面で折り合いがつかず漁期を途中で止めてしまった。需要が少ない中でどう解決していくか不安がある。	来年も同じようなことが続いた場合、どのような手を打てば改善できるのか、今から春を見据えて考えておく必要があると感じる。一時的に収まっているが、先が見えていない状況で今の内から春に向けてどう手を打つべきか検討したい。 特にサクラマスに向けて今一度、一緒に考えていきたい。コロナの影響を受けていると思うので交付金の活用を視野に入れたい。		産業振興課
3	漁業関係者	【燃油高騰に対する燃料補助について】 以前から燃油が高騰しイカの漁自体が無くなっている中で、イカつけだけ燃料助成するのは変だなと認識が強かったが、早急にイカつけの人方の燃油対策をしてあげた方がよい。ばたばた倒れた際に取り返しのつかないことになりそう。	国際関係の中で燃油の価格が決まっているため非常に厳しいところだが、それに対する対策をとらないといけない。漁業者だけではなく家庭においても燃料の負担が大きくなってきているのでそれも踏まえて検討していきたい。		産業振興課
4	漁業関係者	【燃油高騰に対する燃料補助について】 燃油が毎月値上げしている上にイカ自体が獲れない状況。ガソリン代を浮かすために尻の日も休んでしまっている。今までだと、イカを探しに沖に出ていたがこれだけ燃料が高騰すると調査に行くこともできない状況。	No.3回答内容と同じ		産業振興課

令和3年度まちづくり懇話会

日時：令和3年11月4日15：00～16：30

場所：江差町役場 第2委員会室

令和3年11月25日時点

分野：産業団体3（漁業者）

No	発言者	意見内容	意見に対する当日回答内容	まちづくり懇話会後の対応状況	担当課
5	漁業関係者	【漁具半額助成の再実施について】 漁具の半額補助について助成対象を個人と合わせて団体への助成も復活してもらいたい。	どういう制度設計にするか、或いは必要性を来年度に向けて検討していく。		産業振興課
6	漁業関係者	【町内販路の機会づくりについて】 ホッケが主に獲れているが、どこでも獲れる魚種のため値段が上がらない中で昨年は役場内で購入してくれた。そういう機会をこれからも作っていただきたい。			産業振興課
7	漁業関係者	【ウニ養殖支援について】 赤潮の影響によりウニが道東沖で死んでいるが、町内でもかもめ島の散歩道付近で多くはないが死んでいるのを見かける。 国と町から稚魚のお金をもらって養殖している事業であるため、これからも支援の継続を要望する。	漁業者の経営をどう安定させていけるか、効果的なやり方について考えるうえで参考にしたい。		産業振興課
8	漁業関係者	【流通減少に伴う魚価低下について】 魚価が半減している。物が売れないのではなく、動かせれない。蟹の製品を作っても動かせれず小さく物を動かしている状況。			産業振興課
9	漁業関係者	【資材置場の借用について】 桧岱の倉庫を借りているが、雨漏りが酷くてエンジンの部品、漁具も置いているが雨漏りで錆びてしまい使い物にならなくなっている。	資材置き場、小さな加工場をやりたくても制限がある。個別的に協議させていただき、実現できるような意見交換したい。		産業振興課

令和3年度まちづくり懇話会
日時：令和3年11月4日15：00～16：30
場所：江差町役場 第2委員会室

令和3年11月25日時点

分野：産業団体3（漁業者）

No	発言者	意見内容	意見に対する当日回答内容	まちづくり懇話会後の対応状況	担当課
10	漁業関係者	【町内水産加工場建設への規制軽減について】 江差町産としてメインに売り出そうとしているが、小さい工場を1つ建てたいと思っても、規制がかかっている。水産加工場に対して抵抗感がある中、工場をつくるような土地のお考えはあるのか。	No.9回答内容と同じ		産業振興課
11	漁業関係者	【燃油高騰に対する燃料補助について】 今年は鮭漁が去年に近いくらいの水揚げがあったもののイカが不漁だった。燃油代が高すぎるため、現状を考えると漁に出ない方が得であることから出ないことを選んでしまっている。	No.3回答内容と同じ		産業振興課
12	漁業関係者	【回遊魚の漁獲に頼らない漁法の確立について】 自然に海流してきている魚頼みなどところがあるのが年々漁も減少しているため大きな畑を用意してくれればいくらかでもやる気持ちはある。	海面養殖は総代協議会に相談し青年部の試験事業として来年度からお願いしたいと思っている。前浜にナマコの施設が8基ほど沈んでいるが。使われていないように思うのでその利活用を含めて議論していく。		産業振興課
13	漁業関係者	【漁具半額助成の再実施について】 鮭定置の移動によって資材を買う人が来年見受けられるためお願いしたい。	No.5回答内容と同じ		産業振興課
14	漁業関係者	【ウニ養殖支援について】 蝦夷バフンウニの養殖を継続していき、実績を見ていきたいと考えている。根付も必要と考える。	No.7回答内容と同じ		産業振興課

令和3年度まちづくり懇話会

日時：令和3年11月4日15：00～16：30

場所：江差町役場 第2委員会室

令和3年11月25日時点

分野：産業団体3（漁業者）

No	発言者	意見内容	意見に対する当日回答内容	まちづくり懇話会後の対応状況	担当課
15	漁業関係者	【ふるさと納税でのサクラマスを活用について】 ニシンのような形で町がいくらか加工するようにストックする予算付けはできないのか。	1つの案だが、その後の売り先がないと無駄にしまっただけ。ニシンの場合、町内で使ってもらって江差のイメージとしてニシンが想像されるが、付加価値が高いサクラマスを抱えて町内に流通させることに厳しさを感じている。 ふるさと納税に関して、申込みが多い時期は今の11月、12月がすごく多い。そうすると漁期的に難しい。 売り方として、ある程度捌いたものをストックしておくことで秋アジとマスの味比べという形はありだと感じる。後はそれだけの量をストックできる体制を考えていくことが必要。		産業振興課 まちづくり推進課
16	漁業関係者	【燃油高騰に対する燃料補助について】 燃料費の助成を要望する。	No.3 回答内容と同じ		産業振興課
17	漁業関係者	【アワビ養殖事業のビジョンについて】 アワビの養殖について、私の方からは1年でやれっというなら受けないと申出した。1年でものになるものではないため3年間という期間を区切ったが、3年間の内テストとしてどれくらいのものになっていくのか。単年度でなく3年後にどういったスタイルで運営していくのか、そういうビジョンを磨くべきなのかと。	町がアワビの養殖をやって次に繋げる形にしないとダメなんだということで、漁業者の皆さんと我々で行政がしっかりと覚悟を持って取り組むべきだと感じる。 単発で終わらせるのではなく、次に繋がるような設備投資をどうしていくのかまでつなげていく必要があると感じている。 ふるさと納税で使わせていただくにしても、アワビなど高級品といったものを少しでも単価が高く流通できる取り組みにしていきたい。		産業振興課

令和3年度まちづくり懇話会
日時：令和3年11月4日15：00～16：30
場所：江差町役場 第2委員会室

令和3年11月25日時点

分野：産業団体3（漁業者）

No	発言者	意見内容	意見に対する当日回答内容	まちづくり懇話会後の対応状況	担当課
18	漁業関係者	【販売ルートの探求について】 渡島冷蔵(森町)ではANAのレストランなどに卸しており、モノが良いから良い所でも買ってもらえている状況。 自分でできればいいが、売り先自体探せないし、モノが良くてお客さんだけ見つければ売れるモノだと確信はある。	売り先を探すため私もセールスしていきたい。 しかし、サクラマス漁期を考えると今時期から宣伝することは商品がないため中々難しい。 効果的な宣伝が行えるよう商品の確保やタイミングを含めて検討していきたい。		産業振興課
19	漁業関係者	【レジャーに対するマリーナ施設の制限について】 マリーナの使い勝手がよく、レジャー客が殺到しており、中には業者の姿も。捕獲が禁止されているマグロをユニックで運ぶ利用者、ヒラメを数十枚釣っていく方がいるなど前浜の資源の悪化を懸念している。また町の施設が助長しているという見方もされている。 そのような中でマリーナ利用者に対して港利用するにあたって、釣り客などに向けたルールを江差町独自で制限することはできないか。	マリーナが助長しているというご指摘も踏まえて、どこまで我々がルール化できるのか含めて検討していく。	前浜資源について、町広報紙に掲載し、周知を行います。	産業振興課